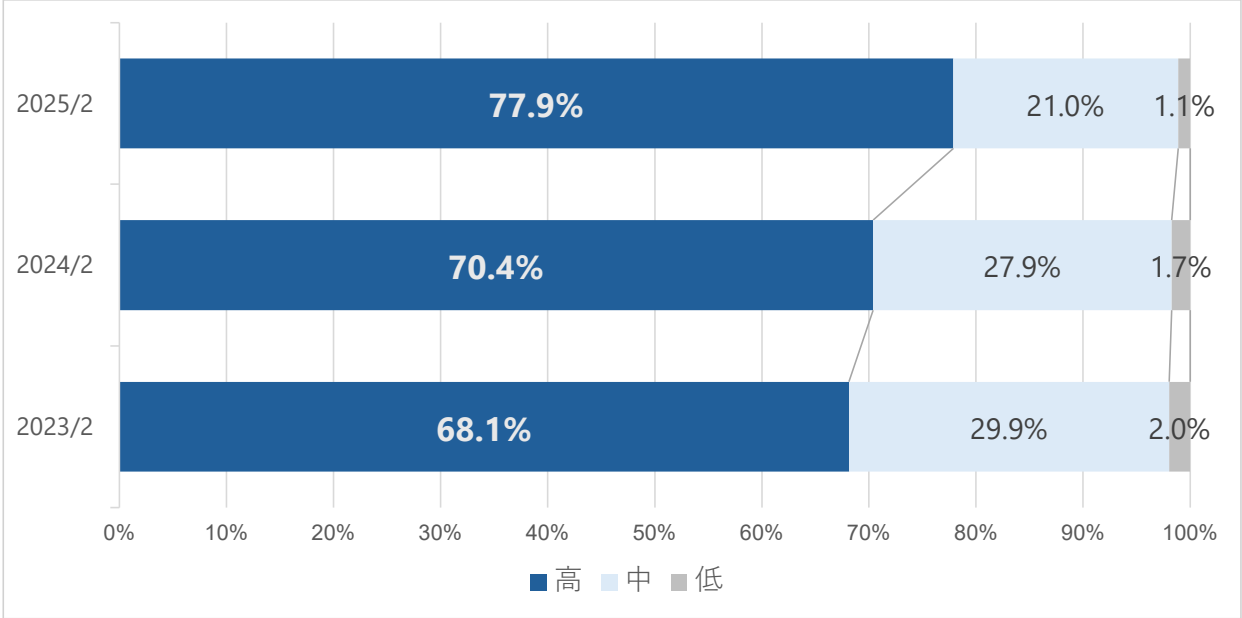


従業員の健康リテラシーの向上

当社グループでは健康保持のための正しい知識を保持し、自ら行動できる従業員を増やすことを目指しています。年に2回行う健康アンケートにて、運動、食事、睡眠、嗜好品、ストレス、健康診断の6つのカテゴリーによる12項目の設問から従業員の健康リテラシー度を測定し評価しています。

<従業員の健康リテラシーの状況>



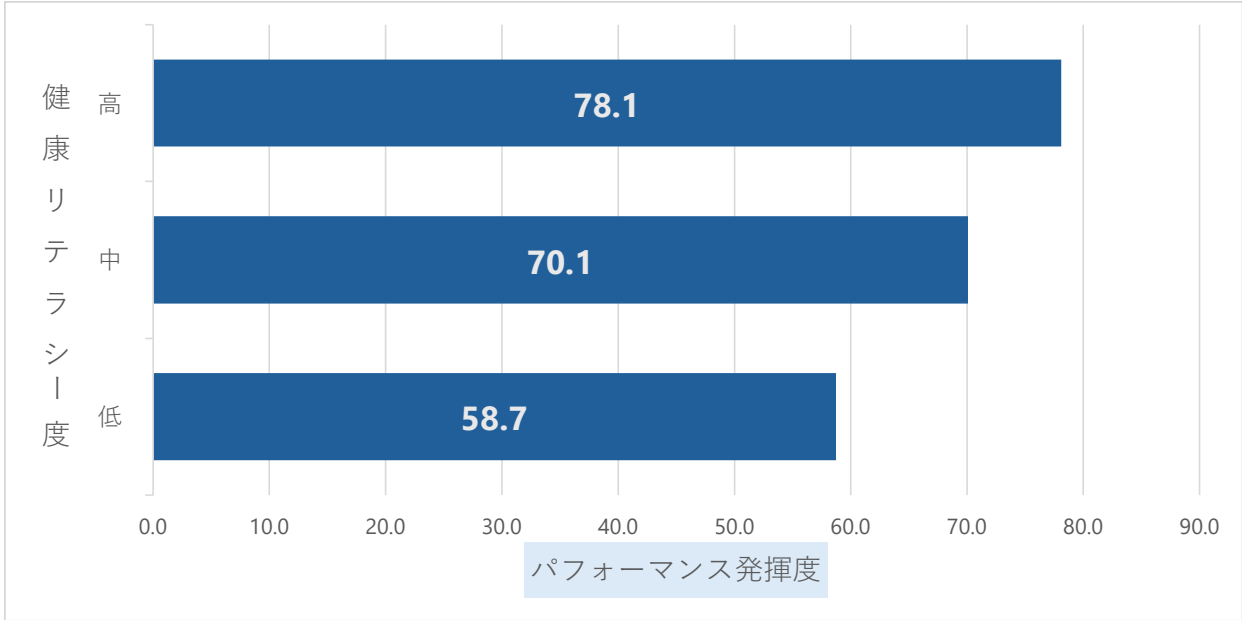
健康に関する取組アンケート（2025年2月）より

<健康リテラシーの高い従業員の傾向>

健康リテラシーの高い従業員は健康状態がいい傾向にあり、仕事への好影響もみられます。以降は各健康指標と健康リテラシーの傾向をグラフ化したものです。

プレゼンティーズムと健康リテラシー

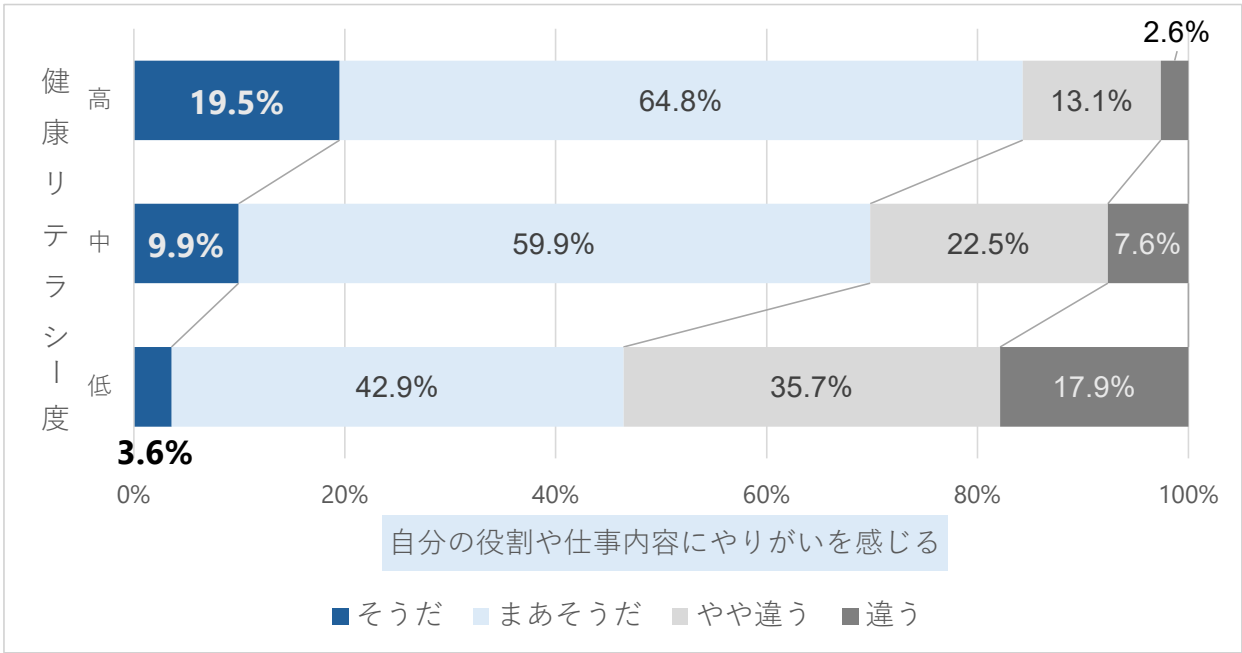
健康リテラシーが高い従業員ほど、パフォーマンス発揮度が高い状態となっています。



健康に関する取組アンケート（2025年2月）より

職務へのやりがいと健康リテラシー

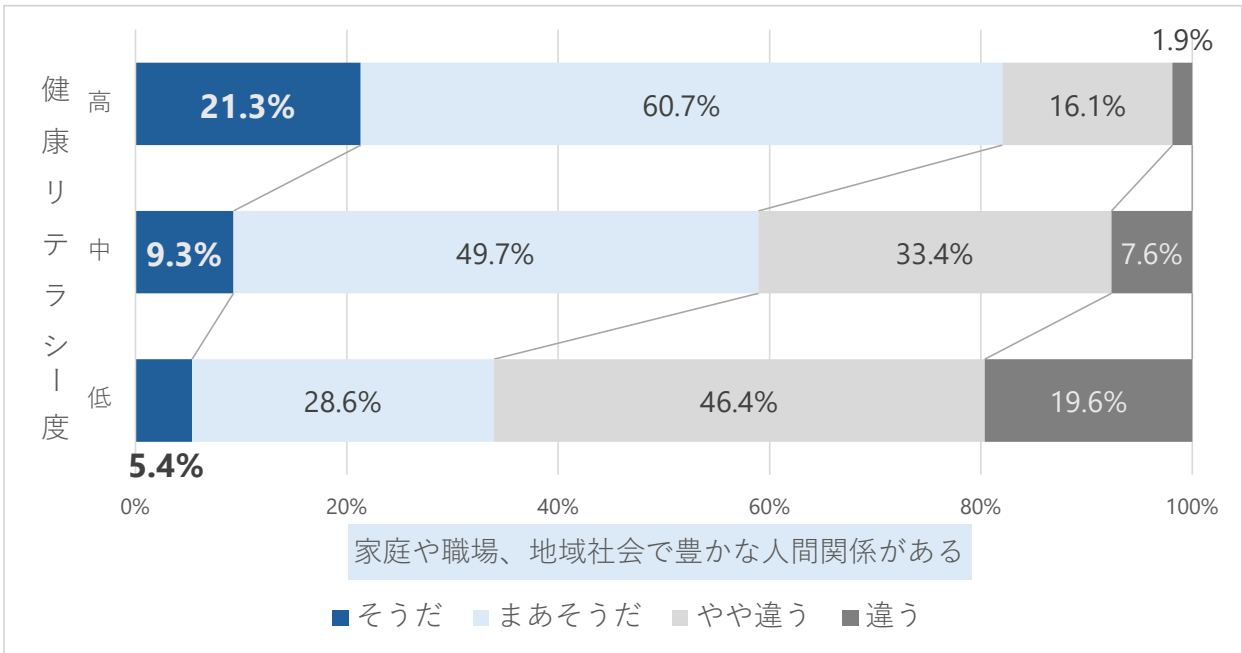
健康リテラシーが高い従業員ほど、自分の役割や仕事内容にやりがいを感じている傾向があります。



健康に関する取組アンケート（2025年2月）より

社会的健康と健康リテラシー

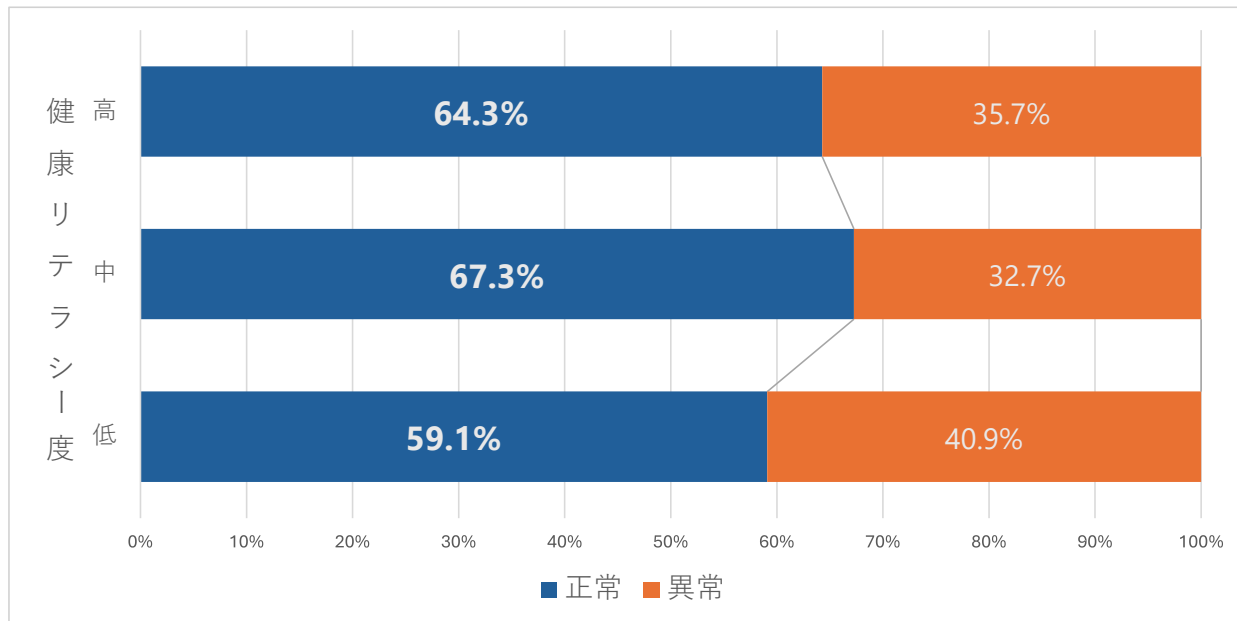
健康リテラシーが高い従業員ほど、家庭や職場、地域社会で豊かな人間関係がある傾向があります。



健康に関する取組アンケート（2025年2月）より

血糖値適正割合と健康リテラシー

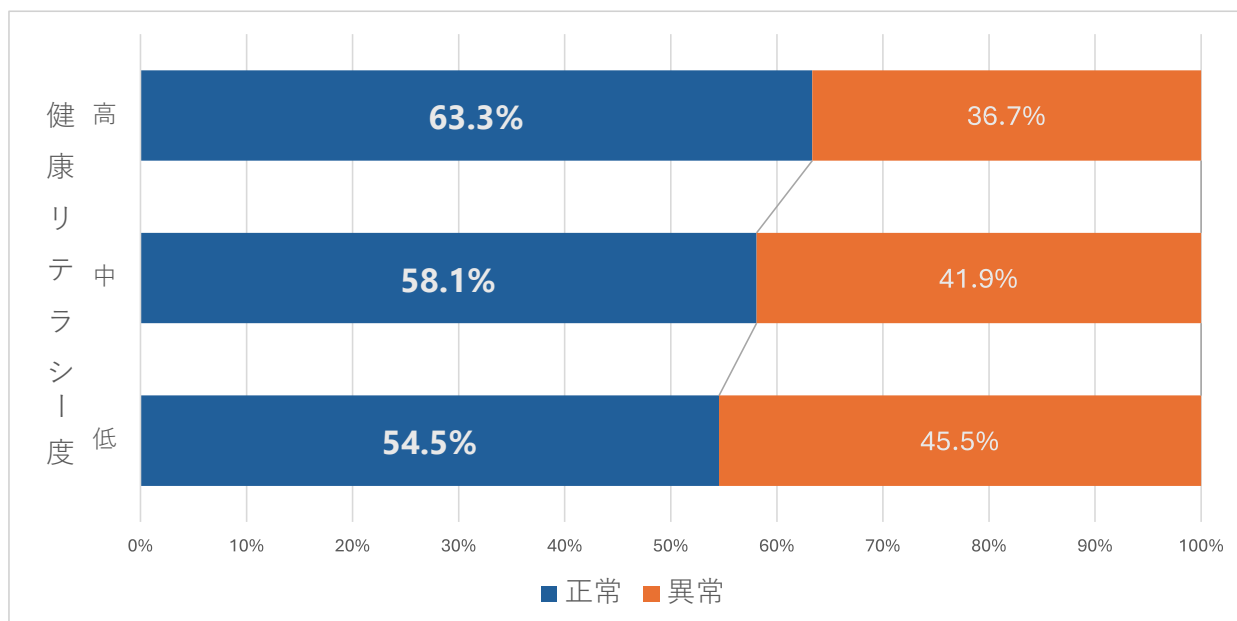
健康リテラシー度により血糖値適正割合は大きく影響を受けないが、健康リテラシー度が低い従業員より中程度以上の従業員の方が血糖値適正割合が高い傾向にあります。



健康に関する取組アンケート（2025年2月）及び2024年度 健康診断結果より

BMI適正割合と健康リテラシー

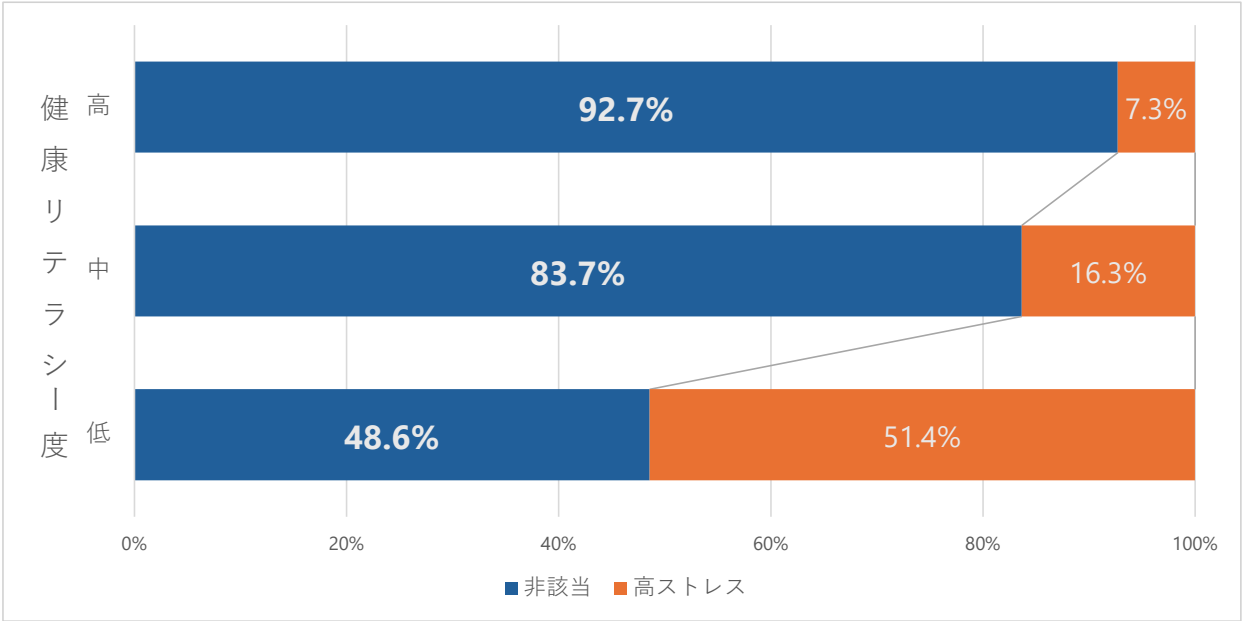
健康リテラシーが高い従業員ほど、BMI適正割合が高い傾向があります。



健康に関する取組アンケート（2025年2月）及び2024年度 健康診断結果より

高ストレスと健康リテラシー

健康リテラシーが高い従業員ほど、高ストレス者に該当しない傾向があります。



健康に関する取組アンケート（2025年2月）及び2024年度 ストレスチェック結果より